

校長先生の日記⑥

体験的に学ぶ学習を大切にしています

本校には、スクールバスが3台あり、これらのバスを使って、体験的に学ぶ学習が盛んです。



5年生が地域の宝である野尻湖のクリーンラリーに参加し、水質や生物について学んだり、4年生が県庁や善光寺を見学したり、6年生が、古墳や森將軍塚古墳、松代大本営を見学したりと実際に行き、見て、聴いて、体感して学ぶことを大切にしています。現地での学習が充実するために、学校での事前学習を丁寧に行い、一人一人が「何を学んでみたい」のかはっきりとした目的意識をもって見学に臨みます。そのため、講師のみなさんの話に熱心に耳を傾け、メモを取り、積極的に質問をすることができます。帰ってきてからは、自分たちの学びの成果をまとめ、確かな知識として身につけていくことができます。また6年生は、総合的な学習の時間で、これまた地域の偉人「一茶」について学び、記念館



や街道等を訪れて、研究を深めています。信濃小中の恵まれた環境を生かして、これからも体験的な学びを充実させていきま

鑑校内でも体験的な学びが充実しています！

校内でも、体験的に学ぶ学習が展開されています。3年生の理科では、モンシロチョウやアゲハの幼虫を観察したり、雅楽のみなさんに雅楽特有の楽器や舞を教えてください、クラスの総合的な学習の時間に長野県のおやきについて調べて、自分たちでも作ってみたりとバラエティに富んでいます。体験しているときの子どもたちの目は本当に輝いていて、多くのことを学びとっています。「学びを強制的に注入する」教育から「自分から学びとっていく」ことが求められる時代です。そんな学びが実践される体験的な学びを、ますますこれからも充実させていきたいと思ひます。



俺たちの原っぱ！

信濃町にあるDIC Japan という会社の小坂社長様のご厚意で、ロータリーの西側にある原っぱを、子どもたちの遊び場として貸していただくことができました。庁務の佐藤先生が迷路のように草を刈ってくださり、その中で自由に遊びました。自分たちで遊びを考えて、遊ぶ子どもたちのエネルギーはすさまじかったです。仲間と秘密基地を作ったり、ベットを作ってお昼寝したり、子どもたちからたくさんの遊びのアイデアが生まれてきました。この力こそが、将来自分で学習を主体的に進めるための大切な基礎となります。ご厚意に感謝して、たくさん遊ばせてもらいたいと思ひます。